

平成24年度の決算見込について

平成24年度決算見込の概要

昨年12月6日に第275回理事会が開催され、平成24年度の決算見込が承認されました。

●一般勘定（健康保険）

一般勘定の収入は、被保険者数は減少したものの、標準報酬月額と標準賞与額が前年



第275回理事会のもよう

に続き上昇したことにより、保険料収入で2億2803万円の増収となりました。収入全体としては予算より2億1948万円多い、170億5126万円の決算見込となりました。

支出は、医療費等の伸びが見込より低かったことから、保険給付費は予算より約4億2473万円減の80億7983万円（前年度比1・55%増）、納付金等は42万円減の65億1160万円（前年度比5・97%増）となり、支出全体としては予算より7億635万円少ない、161億2543万円（前年度比3・87%増）の決算見込となりました。

収支差引額は9億2583万円で、経常収支差引額5億1215万円の黒字決算となる見込です。

●介護勘定（介護保険）

介護勘定の収入は、一般勘定と同様に保険料収入が3663万円の増収となり、収入全体としては予算より3666万円多い、15億9223万円の決算見込となりました。

支出は、介護納付金が169万円減の14億9042万円（前年度比6・84%増）となりましたが、支出全体としては予算より214万円少ない、15億5343万円（前年度比11・33%増）の決算見込となり、収支差引額は3880万円となる見込です。

平成25年度の保険料率について

平成25年度においては、別途積立金が約14億円となる見込ですが、平成27年度には納付金等の算定方法が、全面総報酬制となる見込であることから、急激な保険料率の上昇を避けるため、別途積立金からの繰入は3億円程度としたうえで、95%に据置とする予定です。

また、介護保険料率については、準備金からの繰入を3000万円程度としたうえで、14%に据置とする予定です。

なお、平成25年度予算については、平成25年2月21日に開催予定の組合会において決定されます。

詳細につきましては、次号の機関誌「すこやか」（4月発行）にてご報告いたします。